

ドイツ語 (German)

ドイツ語入門 (Introductory German)

(総科((総理)1年))

ギュンター デルク・非常勤講師

1単位 前期 火 3・4

(平成19年度以前の授業科目:『ドイツ語入門』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『ドイツ語(1)』)

【授業の目的】ドイツ語の基礎文法を習得し、会話ができるようになる。ドイツの文化や現代社会についての理解を深める。

【授業の概要】表現力(会話、筆記、聞き取り)の能力を高める。前期には基礎的な文法を勉強する。後期には今まで学習した内容を応用して、自分の言葉で表現する練習をする。パートナーとの会話練習や、発表など、授業への積極的な参加が望まれる。

【キーワード】現代ドイツ語、コミュニケーションの力、ドイツ文化

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【到達目標】基礎的な会話と筆記を自分の言葉を使ってできるようにする。

【授業の計画】

1. オリエンテーション
2. ABCの発音、スペル
3. 人と知り合う1(名前, 出身, 住所, 自己紹介)
4. 人と知り合う2(紹介する, 数, 電話番号)
5. 専攻言語(専攻, 学習言語, 曜日)
6. 趣味(好きなこと, 嫌いなこと)
7. 家族1(親戚, 年齢等)
8. 家族2(職業)
9. 中間テスト
10. ドイツの国・現代社会について
11. 食事(好物, 一日の食事)
12. 持ち物(品物の感想1)
13. 持ち物(商品の感想2)
14. 時刻と日付1(時刻, 時間, 日付, 月, 誕生日)
15. 期末テスト
16. 総括授業※参加する人数やクラスのレベルによっては上記の内容が変更されることもあります。

【教科書】未定

【参考書等】[参考資料]

【成績評価の方法】(ア)単語ミニテスト, (イ)中間テスト, (ウ)期末テスト, (エ)授業への積極的な参加, (オ)出席。単位取得のためには(ア)~(オ)の全ての分野で最低60点を取る必要があります。(ア~オ)の中で60点より少ない点数があった場合には不合格です。桂先生とのペア授業になっているので、必ず両方受講のこと。

【再試験の有無】無

【受講者へのメッセージ】ドイツ語は難しい言語ですが山登りと一緒に、途中はたいへんでも、頂上について話せるようになるととても楽しいものです。楽しい授業にしようと思いますので、一緒にがんばりましょう。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220916>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ギュンター。

【備考】

- ◇木曜1・2講時の桂先生のクラスとペア授業になっているので、必ず両方受講のこと。
- ◇連絡先 学務課教育支援係 (kykyotuk@jim.tokushima-u.ac.jp)

German

Introductory German

(総科((総理)1年))

Dierk Günther · PART-TIME LECTURER

1 unit 前期 火 3・4

(平成19年度以前の授業科目:『ドイツ語入門』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『ドイツ語(1)』)

Target 〉ドイツ語の基礎文法を習得し、会話ができるようになる。ドイツの文化や現代社会についての理解を深める。

Outline 〉表現力(会話、筆記、聞き取り)の能力を高める。前期には基礎的な文法を勉強する。後期には今まで学習した内容を応用して、自分の言葉で表現する練習をする。パートナーとの会話練習や、発表など、授業への積極的な参加が望まれる。

Keyword 〉現代ドイツ語, コミュニケーションの力, ドイツ文化

Fundamental Lecture 〉[先行科目]

Relational Lecture 〉[関連科目]

Goal 〉基礎的な会話と筆記を自分の言葉を使ってできるようにする。

Schedule 〉

1. オリエンテーション
2. ABCの発音, スペル
3. 人と知り合う1(名前, 出身, 住所, 自己紹介)
4. 人と知り合う2(紹介する, 数, 電話番号)
5. 専攻言語(専攻, 学習言語, 曜日)
6. 趣味(好きなこと, 嫌いなこと)
7. 家族1(親戚, 年齢等)
8. 家族2(職業)
9. 中間テスト
10. ドイツの国・現代社会について
11. 食事(好物, 一日の食事)
12. 持ち物(品物の感想1)
13. 持ち物(商品の感想2)
14. 時刻と日付1(時刻, 時間, 日付, 月, 誕生日)
15. 期末テスト
16. 総括授業※参加する人数やクラスのレベルによっては上記の内容が変更されることもあります。

Textbook 〉未定

Reference 〉[参考資料]

Evaluation Criteria 〉(ア) 単語ミニテスト, (イ) 中間テスト, (ウ) 期末テスト, (エ) 授業への積極的な参加, (オ) 出席。単位取得のためには(ア)~(オ)の全ての分野で最低60点を取る必要があります。(ア~オ)の中で60点より少ない点数があった場合には不合格です。桂先生とのペア授業になっているので、必ず両方受講のこと。

Re-evaluation 〉無

Message 〉ドイツ語は難しい言語ですが山登りと一緒に、途中はたいへんでも、頂上について話せるようになるととても楽しいものです。楽しい授業にしようと思いますので、一緒にがんばりましょう。

Contents 〉<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220916>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail) 〉

⇒ Günther .

Note 〉

- ◇ 木曜1・2講時の桂先生のクラスとペア授業になっているので、必ず両方受講のこと。
- ◇ 連絡先 学務課教育支援係 (kykyotuk@jim.tokushima-u.ac.jp)